

令和5年度 総 会

開催日：令和5年6月14日(水)13:30~14:15

場 所：子どもアート・メゾン多目的研修室

※自己紹介

次 第

- 1 開会のことば
- 2 理事長あいさつ
- 3 議長選任
- 4 議事
 - (1) 議案第1号 令和4年度事業報告及び活動決算について
 - (2) 議案第2号 令和5年度事業計画（案）及び活動予算（案）について
 - (3) その他
- 5 その他
- 6 閉会のことば



特定非営利活動法人
相馬フオロアーム

令和4年度事業報告書

1 事業の実施内容

震災による子どもへのPTSD対策や心理相談支援を行うため、カウンセラー（臨床心理士・公認心理師）が被災小・中学校及びLVMH子どもアート・メゾンで心理相談活動を実施した。また、被災した子どもに生きる力を育むための情操教育および社会性育成の支援を行った。

2 事業の実施状況

(1) 学校巡回カウンセリング

① 回数：延べ 251回

② 対象：中村第二小学校 82回、中村第二中学校 84回、

磯部小学校 44回、磯部中学校 41回

③ 内容：東日本大震災による津波等被害を受けた小・中学校を中心にカウンセラーが定期的に巡回し、児童・生徒とその保護者へのカウンセリングや教職員への助言等を実施した。

(2) LVMH子どもアート・メゾンにおける心理相談

① 件数：延べ 322件

② 内容：LVMH子どもアート・メゾンの相談室において、相馬市に在住する乳幼児から18歳までの子どもを対象に、またその保護者を対象に子育て相談・心のケアを行った。

(3) 相馬看護学校との連携事業

① 件数：延べ 1件

② 内容：相馬看護専門学校の学生に対し、心理支援活動を行った。

(4) 心の相談会

① 回数：2回

② 内容：今年度は、市内の幼児・園児・児童・生徒の保護者、及び学校教員、SC等の支援者を対象に、オンラインによる公開講座形式にて、小・中学校の夏季・冬季休業期間中の8月と12月に2回実施した。1回目は「子どもたちをどう理解しようかわるか〜特性・知能・感情から見る〜」と題した基礎的な講義、2回目はそのPart2として架空事例を用いて「家庭・学校における具体的な対応」と題した講義を行った。

(5) 関係機関との連携

- ① 回数：延べ 188回
- ② 内容：教育支援相談員等関係者会議（3回）、放課後児童クラブ職員勉強会（1回）に参加した。その他、医療・福祉・学校といった関係機関との連携を行った。

(6) 震災遺児・孤児に対するケア

令和4年度の震災遺児・孤児調査の対象児童・生徒は2名であった。当該児童・生徒においては1学期末と3学期末に、担任や養護教諭等から学校生活などについての情報を収集しカルテを作成した。作成したカルテは市教育委員会に提出した。

3 事業実施の成果

津波被災地域の子ども、保護者、教職員等に対し心のケアを行った。子どもたちに医学的な診断・治療を要するPTSDの症例は確認されていない。しかし、震災から12年を経過した今でも、一部の子どもたちには、家庭環境の変化により精神疾患や発達障害様の症状を呈する例もあり、継続的な観察、カウンセリング及び心理社会的支援が必要とされる。

今年度も津波被災地域のみならず、相馬市民の子育て相談施設として、その機能を果たすよう活動を行った。また新型コロナウイルス感染症対策として、一昨年度より導入しているオンライン支援（電話相談やビデオ通話、メール、SNS相談）では、SNS相談件数が全体の半数近くを占めていた。今後も感染の増減とは関係なく、手頃な相談のツールとして多用されることが予想される。

令和4年度活動計算書

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	金額
I 経常収益		
1 受取寄附金	0	
2 受取助成金	0	
3 事業補助金	23,245,000	23,245,000
4 その他収入	84	
受取利息	52,560	
雑収入	39,999	92,643
固定資産売却益		
経常収益合計		23,337,643
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料	9,564,000	
法定福利費	1,311,104	
人件費計	10,875,104	
(2) その他の経費		
旅費	465,349	
借入料	1,148,114	
その他事業費	2,303,078	
その他経費計	3,916,541	
事業費計		14,791,645
2 管理費		
(1) 人件費		
給料	3,215,698	
法定福利費	344,483	
人件費計	3,560,181	
(2) その他の経費		
旅費	252,065	
減価償却費	151,933	
賃借料	621,896	
租税公課	1,059,100	
その他管理費	687,960	
その他経費計	2,772,954	
管理費計		6,333,135
経常費用合計		21,124,780
当期経常増加額		2,212,863
当期正味財産増加		2,212,863
前期繰越正味財産額		8,606,981
次期繰越正味財産額		10,819,844

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	4,997,494
前払費用	1,324,800
未収入金	4,610,100
流動資産合計	10,932,394
2 固定資産	
車輛運搬具	687,662
什器備品	93,893
固定資産合計	781,555
資産合計	11,713,949
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	841,055
預り金	53,050
流動負債合計	894,105
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	894,105
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	8,606,981
当期経常増加額	2,212,863
正味財産合計	10,819,844
負債及び正味財産合計	11,713,949

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
東邦銀行普通預金 (No.1035128)	4,997,494
前払費用 R5年度家賃2件分	1,324,800
未収入金 受託料(相馬市)	4,610,100
流動資産合計	10,932,394
2 固定資産	
車輛運搬具	
ホンダドライブ(中古)	1
(福島581の6267)	
フリードスパイク(中古)	1
(福島502な4246)	
ハイゼットカーゴ(中古)	1
(福島480ち5220)	
ミライース(中古)	687,659
(福島581た7410)	
車輛運搬具合計	687,662
什器備品	
リコープリンター	1
知能検査コンプリートセット	1
知能検査セット	1
事務所書庫	93,890
什器備品合計	93,893
固定資産合計	781,555
資産合計	11,713,949
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	
3月分 電話料	4,898
3月分 水道光熱費	16,671
3月分 社会保険料	264,986
未払消費税等	554,500
未払金合計	841,055
預り金	
1～3月分 源泉税	53,050
流動負債合計	894,105
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	894,105
正味財産	10,819,844

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日 一部改正

NPO法人会計基準協会)によつてます。

(1)消費税等の会計処理

税込処理である。

(2)施設の提供等の物的サービスの提供を受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算に計上していません。

2. 事業費の内訳

(単位:円)

科目	心事	ケ業ア	寺子屋ふれあい業	交流事業	学院業	合計
(1) 人件費						
給料手当	9,564,000		—		—	9,564,000
法定福利費	1,311,104		—		—	1,311,104
人件費計	10,875,104		0		0	10,875,104
(2) その他経費						
旅費	465,349				—	465,349
借料	1,148,114				—	1,148,114
その他事業費	1,270,078		1,033,000		—	2,303,078
その他経費計	2,883,541		1,033,000		0	3,916,541
合計	13,758,645		1,033,000		0	14,791,645

事業の共通経費がある場合は、スタッフの従事割合で案分する。

監査報告書

令和4年度特定非営利活動法人相馬フォロアチームの収支決算について、預金通帳並びに領収書など関係書類をもとに監査をいたしました。

その結果、正確かつ適正に処理されていまして、ここにご報告いたします。

令和5年5月17日

特定非営利活動法人
相馬フォロアチーム

監事 反畑 正博



令和5年度事業計画（案）

事業内容

1 心理ケア事業

(1) 学校巡回カウンセリング

相馬市内の東日本大震災の被害が大きかった小・中学校を中心に、相馬フォロアチームのカウンセラーが定期的に巡回し、児童・生徒とその保護者、教職員を対象にカウンセリングを実施する。

① 対象校

中村第二小学校、中村第二中学校、磯部小学校、磯部中学校

② 予定される訪問回数

- ・ 中村第二小学校・・・ 8 2回
- ・ 中村第二中学校・・・ 8 5回
- ・ 磯部小学校・・・ 4 4回
- ・ 磯部中学校・・・ 4 1回

(2) LVMH子どもアート・メゾンにおける心理相談

LVMH子どもアート・メゾン相談室において、相馬市に在住する乳幼児から18歳までの子どもを対象に、またその保護者等を対象に子育て相談・心のケアを実施する。

(3) 相馬看護専門学校との提携事業

相馬看護専門学校の学生に対し、心理支援活動を行う。

(4) 家族・専門家向け講習会

新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながらではあるが、今年度は対面での開催を検討している。対象者は、昨年度と同様、市内の幼児・園児・児童・生徒の保護者、及び支援者とし、ストレスマネジメントをテーマとした、ワークショップ形式にて、小・中学校の夏季・冬季休業期間に実施する予定である。

(5) 関係諸機関との連携

関係諸機関との連携として、関係諸機関との情報交換や研修会への参加（講師としての参加も含む）を行う予定である。

(6) 震災遺児・孤児に対するケア

関係諸機関と連携し、対象児童・生徒の経過を把握し、必要に応じて支援を行う等、遺児・孤児の成長を継続的に見守る。

令和5年度活動予算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位:円)

科 目		金 額	
I	経常収益		
1	受取寄付金等	0	
2	受取補助金	0	
3	事業収益	23,045,000	
	市委託料収入	200,000	
4	その他の収益	100	
	相馬看護学校委託料収入	45,000	
	受取利息		
	雑収入		
	経常収益合計		23,290,100
II	経常費用		
1	事業費		
(1)	人件費		
	給料	9,780,000	
	法定福利費	1,420,000	
	人件費計	11,200,000	
(2)	その他の経費		
	旅費	500,000	
	借入料	1,200,000	
	その他事業費	2,300,000	
	その他経費計	4,000,000	
	事業費計		15,200,000
2	管理費		
(1)	人件費		
	給料	3,300,000	
	法定福利費	350,000	
	人件費計	3,650,000	
(2)	その他の経費		
	旅費	300,000	
	借入料	670,000	
	減価償却費	700,000	
	租税公課	1,100,000	
	その他管理費	1,670,100	
	その他経費計	4,440,100	
	管理費計		8,090,100
	経常費用合計		23,290,100
	当期経常増加額		0
	当期正味財産増加額		0
	前期繰越正味財産額		10,819,844
	次期繰越正味財産額		10,819,844